

令和4年度 有田市立宮原小学校 スクールプラン

有田市学校教育方針
 認め合い、学び合い、郷土を愛する子どもの育成を図る～小中連携を通して～

- 一人一人を生かし、学び続ける力を育てる
- 人とのふれあいを通して、豊かな心を育てる
- たくましく健やかな体を育てる
- 自然や文化とのふれ合いを深め、郷土に対する誇りや愛情をはぐくむ

保護者・地域の願い

- 交通安全指導を強化・徹底してほしい
- いじめがなく人に優しく思いやりのある学校にしてほしい
- 地域に愛着をもち、地域を誇りに思える子どもを育ててほしい

【 学 校 教 育 目 標 】

**心豊かでたくましく、
みんなとともに伸びる子どもの育成**

【めざす子ども像】

- ・自分も人も大切にする子
- ・自立学習ができる子
- ・進んで運動ができる子
- ・地域に誇りと愛着がもてる子

前年度の学校評価

- 様々な制限がある中でも、子どもたちのために工夫しながら努力している
- 学力・体力の向上に向けた取り組みは今後も継続してほしい
- ◆ 交通安全に関する意識向上の徹底を
- ◆ タブレットの効果的な活用推進を

子どもたちの実態

- 異学年と仲よく遊べる
- 上級生が下級生に優しい
- ◆ 見通しや危険に対する意識が低い
- ◆ 自己肯定感が低くなっている
- ◆ 思いやりや配慮の面で弱さがある

重点目標	<p style="text-align: center;">確かな学力の向上</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 協同学習から深い学びに繋がる授業づくり ② 読解力と思考力の向上 ③ ICT機器の有効な活用 	<p style="text-align: center;">豊かな心の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 多様な体験活動による感得 ② 特別支援教育・人権教育の充実 ③ 特別の教科道徳の授業改善 	<p style="text-align: center;">健やかな体の育成</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 体育科の授業改善（技術指導スキルの向上） ② 体育朝集の内容充実 ③ 望ましい生活習慣の確立 	<p style="text-align: center;">地域とともにある学校</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 開かれた学校づくり ② 地域総合学習のマネジメント・充実 ③ 防災教育の計画的継続
具体的な取組	<ol style="list-style-type: none"> ① OJT授業研修を通して「協同学習」の良さを定着させると共に、「思考」を深めるための課題設定や教師の関わり方、切り返しの発問について研究を深める。 ② 読書活動の推進に加え、課題となっている「読解力」のより精緻な分析とその対策の研究を進める。 ③ タブレットの有効な活用に関する研修講座を設け、授業で実践する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 社会的に意義のある活動や情操教育につながる学習を計画的に取り入れ、自己肯定感や思いやりの心を育む。 ② インクルーシブ教育システムを積極的に取り入れ、公平と協同の人間関係を構築する。（子どもが子どもを支援する形） ③ OJTを含め、積極的に授業交流を行い、研修を重ねる。 ※ 「しつけ三原則」「時を守り、場を清め、礼を正す」の実践 	<ol style="list-style-type: none"> ① 体育部会を中心に体育科のOJT授業研修を計画的に実施する。単元メニューを提示し、子どもたちに見通しをもたせ、子どもどうしのつながりと運動量を確保した授業を実践する。 ② 時期や状況に応じ、楽しみながら運動に親しめる活動を計画的に実施する。 ③ 「早寝・早起き・朝ごはん」や「立腰」の強化週間を設け、児童・保護者の啓発を進める。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 「学校を開く・施設を開く」取り組みを進んで実践していく。学校運営協議会の協力を得て、地域や保護者とよりよい関係を構築する。 ② 「地域へ、そして地域から」を合い言葉に学習の場を広げ、福祉にも目を向けさせる。 ③ ふるさと教育の一環と捉える。いつでもどこにいても「自分の命は自分で守る」という姿勢を与える教育を実践する。
指標	<ol style="list-style-type: none"> ① 授業後の振り返りでは自己評価「A」が80%以上を目指す。 ② 年間50冊以上の読書読解力の分析テストの導入 ③ 全学年でタブレットを活用する 	<ol style="list-style-type: none"> ① 自己評価・他者評価ともに子どもにもプラスが返せる。 ② 授業や評価に②の視点を入れる。 ③ 各学年とも1時間は「道徳」のOJTを行い、研究を深める。 	<ol style="list-style-type: none"> ① 体育部員全員が、1回以上OJT研修授業を実施する。 ② 適度な運動を日常生活に習慣化する。 ③ 自身の生活習慣を振り返らせる。 	<ol style="list-style-type: none"> ①② すべての学年で、地域と関わる学習活動を計画的に実施する。 ③ 毎学期2回、避難訓練や防災学習の時間を設定する。